



浄水器じょうすいきでつくる水みずは本当ほんとうにおいしいの

水道すいどうの水みずをおいしい水みずにする浄水器じょうすいき

まずい水みずを、何とかおいしい水みずにしたいということで、浄水器じょうすいきが考かんがえられました。初はじめのころは、浄水器じょうすいきの内部ないぶに活性炭かつせいたんを入れ、この活性炭かつせいたんに、塩素えんそなどを吸すい取とらせるという方法ほうほうがとられました。この方法ほうほうは、ある程度ていどの効果こうかを上げましたが、鉄さびや細菌さいきんまでは取りのぞけませんでした。その後ご、中空系膜ちゅうくうしまく（非常に細かくて中空ちゅうくうの系状膜しじょうまく）を使う方法つかが考かんがえ出だされ、性能せいようが大はばに向上こうじょうしました。中空系膜ちゅうくうしまくを使うことで、さびや細菌さいきんも防ふせぐことができるようになったのです。いろいろなものが混じりこんでいる水道水すいどうすいは、浄水器じょうすいきをつけることによって、おいしい水みずにすることができるのです。

おいしい水みずの条件じょうけん

おいしい水みずの条件じょうけんは、ミネラル、酸素さんそ、炭酸ガスたんさんが、ちょうどいいぐらいにふくまれ、カルシウムとマグネシウムの合計ごうけいが、1リットル中ちゅうに50ミリグラムぐらいあることといわれています。また、モなどの水中すいちゅうに生はえる植物類しょくぶつや、油あぶら、鉄てつ、あえんなどの不純物ふじゅんぶつが入はいっていないことも、重要じゅうような条件じょうけんです。

おいしくないと感じる水みずには、これらの不純物ふじゅんぶつが混じっているものなのです。

水道すいどうの水みずは、おもに川かわの水みずを利用してありますが、川かわの水みずは、よごれていたり、不純物ふじゅんぶつが混じっていたりするので、消毒しょうどくして飲のみみ水みずとして使つかえるようにします。川かわから取りこんだ水みずには、浄水場じょうすいじょうで消毒しょうどくするために、塩素えんそが加くわえられます。塩素えんそを加くわえると、カルキくさいにおいがするようになり、このにおいが、水道すいどうの水みずをまずく感じさせる原因げんいんとなるのです。

さらに、いろいろなものが混じりあってできるかびのにおいや、水道管すいどうかんについた鉄さびがとけて出でることも、水道水すいどうすいをまずくしているのです。（監修・青木 国夫）

